

自分の花を咲かせよう

第9号
令和3年6月22日(火)
文責：森田美貴子

運動会を振り返って



梅雨の晴れ間の中、1日順延ではありましたが初めての附属中学校の運動会が無事に終わりました。実はこの運動会が全校で行った今年度初めての行事となりました。タイフーン・縦割り・大縄・全員リレーと、他学年の応援も含めて本当によく頑張りました。また、準備や片付けなども素早く行うことができました。今回の運動会に向けてのMissionは「説明を1回聞いて達成する」でした。並んだら座ることや、演技中はマスクを外すなど、おおむね達成できたとは思いますが、まだまだ、会話に夢中で指示を聞き逃す場面や自分が指示されているとは思っていない（誰かがするだろう）という態度が多くみられます。「だれか」の人生・学校生活ではなく「自分自身」の学校生活であり、成長の場です。一人一人が得たこの運動会の経験を、ぜひ今後に生かしてください。

“ 輪 ” ～誰一人欠けない～

今回、学年生徒目標が決まりました。学年生徒会の皆さんが考えた生徒目標は、「“輪（わ）”～誰一人欠けない～」です。みんながチームになって、向かい合って一つの輪を作っていく。輪は強い。そして、中心からの距離がみんな平等に同じという意味を込めたそうです。これから皆さんは支え合ったり、励まし合ったりして、この“輪”を形作っていきます。いきなりきれいな正円とはならないかもしれませんが、けれど、誰一人欠けることなく、傷つけあうことなく友と歩んでいこうとする行動ができれば、きっと頑丈な“輪”ができあがります。君たちのつくる“輪”を楽しみにしています。